

商船系 5 高専と人材確保タスクフォースの連絡会を開催

日本船主協会は、2008 年 7 月に「人材確保タスクフォース (TF)」を設置し、優秀な日本人船員 (海技者) 確保のための広報活動を行っている。TF の活動には船員教育機関との密接な連携が不可欠である。この度、関連教育機関のうち、商船学科を持つ国立高等専門学校 (高専) 5 校との連絡会を開催した。

当タスクフォースでは発足以降、毎年商船系 5 高専 (広島商船高専、富山高専、弓削商船高専、鳥羽商船高専、大島商船高専) との間で、定期的に TF の活動や高専の現状について意見交換を行っている。今年度は 2016 年 11 月 17 日 (木) に連絡会を開催した。

連絡会には商船系 5 高専のほか、当協会人材確保 TF のメンバー会社 6 社が出席。事務局より [2016 年度合同進学ガイダンス](#)の結果を伝えた後、今後の実施方針について話し合った。

学校側からはこうした広報活動によって今後もより広い地域から入学志望者を集めることが肝要であるといった意見が出された。

海事人材確保と海事広報には密接な関係がある。当ガイダンスにおいては、毎年会員会社の協力を得て、現役若手船員を講師として迎え講演を行っており、学校卒業後の働き方を具体的に想像できるとして参加者に好評。2017 年度もこうした協力を継続することで合意した。

当協会では、今後も海事人材の確保に向けてより効果的な取り組みを実施するべく、教育機関と人材確保 TF の連携に協力していく。



議論を取りまとめる小田副会長
(TF 座長)



連絡会の様子